



▲こどもプラザ児童厚生員の奥本有里さん。遊びを通じて子ども同士や親子がつながるよう支援。

生きる力を培う「遊び」

ただの遊びじゃない

子どもの遊びは「娯楽」ではなく「学び」。遊びを通して物の使い方やルール、友だちと協力することなど、「生きる力」を学んでいます。

職員の「遊びの支援」でもっと楽しく遊ぶ

こどもプラザに来て、子どもが置いてあるおもちゃで一人で遊ぶ……。ここはそうではありません。こどもプラザが大切にしていることは「遊びの支援」。職員に保育士や幼稚園教諭の資格を持った児童厚生員や社会福祉士、児童福祉司を配置し、遊びを通して子どもが成長

長できるように見守っています。

初めてこどもプラザを利用する子どもはもちろん、何回も利用する子どもも、おもちゃの使い方や遊び方が分からなければ遊びを楽しむことができません。みんながおもちゃに関心を持ち存分に遊べるよう、子どもの発想を大切にしながら、遊びが広がるサポートをしています。



特集

遊びを通した0～18歳の学びと成長の場

こどもプラザに人が集まる「ひみつ」



▲家族でドミノに挑戦

「大人も一緒に」遊びが学べる

子どもにだけ遊び方を伝えていけるわけではありません。職員と一緒に来た保護者にも遊びを見せて、親子で遊ぶ楽しさを伝えるようにしています。大人が「こうやって使うのか」ということを発見し、子どもと一緒に遊ぶことで、子どもは遊びをより楽しむことができるのです。

多様なおもちゃがそろっています

こどもプラザにあるおもちゃは種類が豊富。手先を使っ

皆さんは茜が丘複合施設内の「こどもプラザ」がどんなことができるところかご存じですか。こどもプラザには、毎日たくさんの方が訪れています。今月はこどもプラザに人が集まる「ひみつ」に迫ります。この夏、「ご自身でも「ひみつ」を解く体験をしませんか。」

◆問合せ こどもプラザ（☎25-2801）

こどもプラザは子育ての拠点施設

こどもプラザには2つの機能があります。一つは保護者の学びやつながりをサポートする「子育て学習センター」。もう一つは子どもの健全な育成を支援する「児童館」です。その両方を備えた「こどもプラザ」は、大人と子どもが一緒に過ごせて、それぞれが成長できる子育ての拠点施設となっています。

18歳まで利用できる施設です

児童館は、18歳までの児童なら誰でも利用することが可能です。放課後になると学校を終えた小学生が遊びに来たり、テスト期間になると、みらいへ勉強しに来た中学生や高校生が勉強の息抜きにこどもプラザへ訪れたりしています。

縦と横のつながりで人との関わり方が学べる

こどもプラザは、縦（異年齢）や横（地域）のつながりができることも特長の一つです。遊びに来た異年齢・他の地域の子どもと一緒に遊ぶことで、新たな交流ができます。また、幼少の子どもにとっては人との関わりを学ぶ機会になり、小学生以上の子どもにとっては、自身より年齢の低い子どもと遊ぶことで「頼られている」という責任感を持つ経験になっています。

小学生と高校生が一緒にカプラ（積み木）遊び



ブロックで手先を使う「マグフォーマー」

マグフォーマーは幾何学の形をした磁石をつなげるブロック遊び。ブロックを平面上でつなぎ合わせたり、立体的に組んだりして遊びます。ブロックの組み合わせや、つなぎ合わせたときの展開図を頭の中で考え、完成品をイメージすることができるようになります。年齢を問わず遊べ、磁石ならではの簡単で、スピーディーな変化を楽しむことができるおもちゃです。

大人も体験できる全身遊び「サイバーホイール」

全身を使った遊びでは、サイバーホイールが一番人気。



▲サイバーホイールに入って前へ転がす動きは大人でも大変

1歳の幼児も楽しめます。空気を入れると大人も入れるサイズの筒状のエア遊具になり、ホイールの中に入れば、回転や側転など、楽しみながら大胆な体の動きをすることができます。

* * *



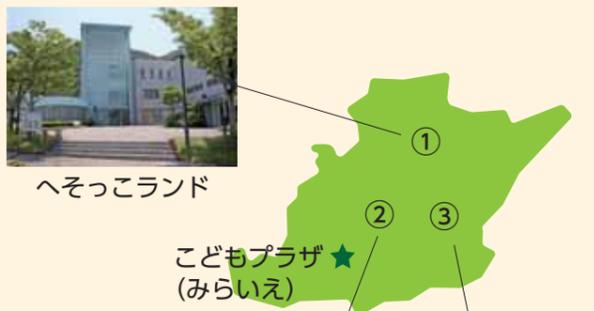
▲親子で夢中になって遊べるマグフォーマー

卓球台はいつも中学生や高校生で大にぎわい。フランス生まれの積み木「カプラ」は、工夫次第でさまざまな遊び方ができることから、高校生が友だちと協力して高く積んだり、長く並べたりしながら遊んでいます。幼少の子どもには難しくても、中学生や高校生にしかできない創造性を膨らませて遊ぶおもちゃが多くそろっているのも、こどもプラザの特徴です。

こどもプラザの出張所

サテライトにおいでよ

西脇市内には3つのサテライト施設があり、こどもプラザとほぼ同じおもちゃがそろっています。また月曜日～金曜日には工作教室や交流教室を実施し、他の保護者や同年代の友だちと活動することもできます。



サテライト利用者の声

あいあいランドは小さな子どもが落ち着いて遊べる場所。ちょうど良い広さで目が届きやすいので、子どもがハイハイしていても安心。上の子と一緒にいるときは、みらいえにも行きます。

足立理沙さん・絃斗くん (小坂町)



あいあいランド



わくわくランド



①へそっこランド (☎28-5702)

住所：西脇市黒田庄町前坂 2140 (黒田庄福祉センター内)
開館時間：午前9時45分～午後4時30分
休館日：土、日曜日・祝日

3つのサテライトの中で一番広いのが特徴。18歳までの児童なら誰でも利用可。ゆっくり遊びたい方におすすめの施設です。

②あいあいランド (☎22-4150)

住所：西脇市西脇 790-14 (播磨内陸生活文化総合センター内)
開館時間：午前9時45分～午後5時
休館日：月曜日 (祝日の場合は翌日以降の平日)

今年春に移転・リニューアルした「あいあいランド」。ベビーカーを押してランドへ来る利用者も。

③わくわくランド (☎25-2801)

住所：西脇市鹿野町 720-1 (こみせん比也野内)
開館時間：午前9時45分～午後4時
休館日：日曜日・祝日

コミュニティセンター内にあり、地域の方が見守り支える、地域密着型のサテライト。放課後になると小学生がやってきます。



おもちゃだけじゃない

工作で達成感を味わう

毎週木曜

おりがみ教室



季節に応じた生き物や植物などを、おりがみや包み紙などを使って作ります。

こどもプラザでは、毎週土曜日・日曜日に工作教室を開催。身近な材料を使って親子や友だちと一緒に作れる体験ができます。子どもが大人と一緒に工作することで、作品が完成したときの充実感や達成感を味わうことができます。そして、「次は自分でやってみよう」という意欲につながります。

土曜日

わくわく工作



作って遊ぶおもちゃや季節の作品、記念日のプレゼント作りを親子や友だちと楽しみながら行います。子どもだけでなく、親子で作ることの楽しさも体験できます。

いただいた材料を活用した教室です



▲工作教室で使う材料の多くは市民の皆さんからいただいたもの。産地ならではの播州織の端切れや糸を巻いていた紙管なども利用しています。

▶播州織を使って作ったバッグや巾着袋



子育て新聞「ことのは」をご利用ください

毎月一回、こどもプラザが子育て新聞「ことのは」を発行しています。工作教室や、こどもプラザで行うイベントをまとめた新聞です。

詳しくは、右のQRコードを読み取ってご覧ください。



工作で地場産業を学ぶ

第2日曜

第3土曜



播州織を使った工作

第2日曜日は小物作り教室を開催。播州織の端切れや段ボールなど、使わなくなったものを工夫して作品に仕上げます。小物入れやペン立て、ポーチ、シュシュなど、作るものは毎月異なります。

第3土曜日にはカレンダー作りを実施。播州織の端切れや糸を巻いていた紙管を使って、写真立てにもなる季節の作品に仕上げます。